

日調連、初の試み

有斐閣より「調停による円満解決―ケースで語るその魅力」を発刊！

広報委員会委員長

瀧川 ハル子

皆さまもご存じのように、調停制度は大正 11(1922)年に「借地借家調停法」によってはじまり、今年でちょうど 100 年になります。この記念すべき年の発刊を目指し、私たちは、調停制度をわかりやすく解説した書籍を企画し、準備をしまいいりました。そして 3 年半をかけて完成しましたのが本書です。執筆者については東京地裁、東京家裁、東京簡裁の調停委員・元調停委員を中心に有志をつのり、内容については地・家裁および簡裁の裁判官、最高裁民事局・家庭局のご指導をいただきました。一般に家事調停はよく知られておりますが、民事調停はあまり知られていないのではという思いから、本書では民事調停に多くのページを割きました。会話調・物語調など、様々な工夫を凝らしながら具体的事例を挙げ、読者に調停のイメージをつかんでもらうようにしています。

各調停協会におかれましては、ぜひ、事例をもとにした研修や、新任調停委員の方々の研修に、本書をご活用いただければと思っております。また、調停委員の皆さまには、本書を手に取り、調停の進め方などの参考としていただければと願っております。



2022 年 6 月 1 日発売, A5 判, 258 頁
定価 2,200 円 (本体 2,000 円)
(ISBN 978-4-641-13881-0)

<目次>

第1部 事例紹介

第1章 民事調停

- 1 交通事故トラブル
- 2 建築紛争事件
- 3 共有物分割請求調停
- 4 借地・借家のトラブル
- 5 消費者トラブル
- 6 労働調停
- 7 パワハラトラブル
- 8 セクハラトラブル
- 9 男女間トラブル
- 10 近隣紛争
- 11 特定調停

第2章 家事調停

- 1 夫婦関係調整・婚姻費用・養育費・面会交流事件
- 2 遺産分割と身分関係調停

第2部 調停の魅力

第1章 Q&A で語る調停紹介

- 1 調停全般について
- 2 民事調停について
- 3 家事調停について

第2章 法律家への調停制度のすすめ